



2024 年 7 月 27 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

テーマ『神聖の自覚』

人類は誰もが神聖を持って生まれてきているといわれています。『人間と真実の生き方』の冒頭にも、「人間は本来、神の分霊（わけみたま）であって、業生（ごうしょう）ではなく、つねに守護霊、守護神（しゅごじん）によって守られているものである。」とあります。

しかしながら、これまでの私たちの人生は、自分自身を神聖の存在であると必ずしも認めていない想いの癖を、後生大事に懷の奥に抱えながら、他者に対する劣等感や優越感を大切にする価値観の元に生きてまいりました。

それは、『人間と真実の生き方』も『我即神也・人類即神也』の真理も、知識としては知っているけれど、「それらの真理は自らの想念・言動行為に表わせるものなのだ」という自覚の薄い状態だったといえます。

2024 年現在の地球は、50 年前とも 20 年前とも違い、誰もが神聖を自覚して生きやすい時代だといえます。それは、眼前の混沌とした様相の奥に、神聖そのものの無限なる可能性の種が、手を伸ばせば届くところまで近づいてきているからであります。

靈的な話はあまり好きではありませんが、来たる神聖文明の時代は、神霊文明の時代だといえます。それは、この世の価値観や法則的なことが、知らない間に靈界や神界のそれに代わってゆくことを意味しています。

そのような時代を切り開く役割を担って生きている私たちは、自らの生命の本質である神聖を今まで以上に深く自覚し、自らの想念・言動行為に表して生きる必要があるといえます。

土曜日の夜は、神聖の自覚をこれまで以上に深く意識に刷り込み、神聖そのものの存在として神聖復活の印を組む時間にしてまいります。いつものお願いですが、すでに神聖の自覚を持っていきとおられる先達の皆様は、あと少しで神聖の大海原へ出ることが出来る方々の後押しをお願いいたします。



2024 年 7 月 27 日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 初めの話 9 分 30 秒

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。

本日は、「私たちは神聖の存在そのものであり、それ以外の何者でもない」、「我即神也の私たちが現われの奥に本質を観て人類即神也と祈っているのだ」、「神聖の存在としての私たちが、大自然と生きとし生けるものと人類に神聖復活の光を送っているのだ」といった、神聖を当然と観る意識で神聖復活の印を組めるようになるための取り組みを行なってまいりますので、よろしくお願いいたします。

これは、7 月 22 日の電話メッセージの内容を受けた取り組みになります。かいつまんでそのメッセージの要点をお伝えしますと、

- ・神聖復活の印を組まれる皆様方は、人類全体で観れば優れた方々であるが、自分を卑下して責め裁いておられる方もいる。
- ・そのような時には、自分自身の神聖を忘れてしまい、「自分は駄目なんだ」とか「自分はできないんだ」とか、「自分は仕方がないんだ」というネガティブなものを掴んでいるが、それはただの習慣の想いであり、本当の自分ではない。
- ・神聖復活の印を正しく組んでいらっしゃる方の普段の習慣というのは、「私はできる」「私は神聖そのものである」

「私はどんな苦しみでも耐えられる力を持っている」「私は無限の力を神から与えられている」といった、無限なる可能性が引き出された意識である。

・しかし、自らの神聖を認めていなければ、習慣の想いを繰り返し、同じ失敗を繰り返し、自らを責め裁く悪循環に陥る。

・神聖復活の印を完璧に組むと、宇宙神からものすごく強力な神聖の光の力が入ってくる。

・しかし、神聖の自覚を忘れた意識で組んでいる場合は、神聖復活の印を組んでいても、降ろされる宇宙神の光が薄くなってしまう。

・神聖復活の印を完璧に組むために必要なことは、自分自身の神聖を疑いなく信ずる意識を持ち、その神聖の意識をもって印を組むことだ。

ということであります。

こうしたお話は以前にもあったかも知れませんが、多くの方々の意識のなかに根付いていた受け止め方は、「どんな意識状態でも神聖復活の印を組んでさえいれば何とかなるだろう」といったものであったと思います。

しかし今回、神聖復活の印の光をさらに強めることで、地上のすべてを救いあげんとする神々様のご愛念により、私達の意識レベルをさらに引き上げるためのお話がありました。

それが、印を組む際に、神聖そのものの自己認識を持ち、その意識をもって神聖復活の印を組むという明確な基準です。そのように、神聖の認識を持って印を組むことで、私たちの印の光がいやますということです。

それが本当に出来るようになるためには、祈りも印もしていない日常生活の時間にも、神聖の想念・言葉・行為を表わしているようになるための不断の練習が大切になります。

なぜならば、神聖復活の印を組む時だけしっかりとやろうというその場しのぎの意識では、心の底から「我は神聖そのものなり」とは思えるはずがないからであります。

そこで本日は行ないませんが、常日頃から暇があれば、「我即神也」や「すべては完璧、大成就」などの言葉を唱えつづける行ないが大切になってまいります。

どうしてそうした行が大切かと申しますと、それを唱えつづけている5分なら5分、10分なら10分、20分なら20分の間は、ほかの想念が入り込む隙間がなく、神聖のみを意識して過ごしているため、神聖の波動圏に心と体を馴染ませることになっているからであります。

こうした取り組みが臨界点に達することで、私たちの内側から神聖の光が滲み出て、やがてそれが溢れ出し、揺るぎない神聖の意識をもって神聖復活の印を組むことが出来るようになるのであります。

「神聖があるからこそすべてがある」と観て生きる私たちは、地球上のあらゆる出来事・状況・ニュース・情報に対しても、また、人類の様々な生き方・想念・行為に対しても、かつまた、小智才覚により神域を汚(けが)してしまっている発明・発見・人類の動向に対してさえも、すべては神聖を思い出すに至る間のプロセスとして、いかなる批判・非難・評価も下さず、それらに対して何ら一切関知せず、ただひたすら森羅万象に対して、神の無限なる愛と赦しと慈しみを与えつづけ、地球人類すべてが真理に目覚めるその時に至るまで、人類一人一人に代わって人類の神聖を認め、神聖復活の印を組みつづけています。

そのような崇高な生き方をしている私たちが、自らの神聖を認められないわけがありません。本日は、「我即神也」、「我即神聖也」、「私は神聖の存在そのものである」という明確な心の軸を意識に植えつけて、これからの毎日・毎時・毎分・毎秒・毎瞬を、神聖を自覚して生きる人生に切り替える時間にしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは時間になりますので、はじめに、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

1. 世界平和の祈り - 約 3 分 30 秒 -

世界人類が平和でありますように。

日本が平和でありますように。

私たちの天命が完うされますように。

守護霊様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

May peace prevail on Earth.

May peace be in our homes and countries.

May our missions be accomplished.

We thank you, Guardian Deities and Guardian Spirits.

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

2. 神聖を自覚する宣言

次は、神性を自覚するための宣言を一回、一緒におこないます。

私は宇宙神から産まれた神の分霊であり

守護霊・守護神様と共にあります。

故に、私がしたいことは必ず出来ます。

私は成りたい者に成れます。

私は行きたい場所へ行けます。

私が想い画いたことは、必ず私の人生に現われます。

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

3. 我即神也の印 約 5 分

次は、我即神也の印です。一回毎に「我即神也」と宣言する形で、三回連続で行ないますので、よろしくお願いいたします。

[三回連続]

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

4. 人類即神也の印 約 5 分

次は、人類即神也の印です。一回毎に「人類即神也」と宣言する形で、三回連続で行ないます。またこの印は、呼吸法の印を組める方は呼吸法の印で、呼吸法の印を組めない方は声を出して組む人類即神也の印をお組みください。

[三回連続]

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

5. 神聖復活の印 18 分 00 秒

次は、神聖復活の印です。「はい」の合図で、一緒に宣言をしてお組みください。7 回連続を 3 セット行ないます。それでは始めます。はい。

<一回目の宣言>

神聖そのものの私達が大自然を抱きしめながら、宇宙神の光を送ります。

[神聖復活の印を七回連続]

<二回目の宣言>

神聖そのものの私達が生きとし生けるものを抱きしめながら、宇宙神の光を送ります。

[神聖復活の印を七回連続]

<三回目の宣言>

神聖そのものの私達がすべての人類を抱きしめながら、宇宙神の光を送ります。

[神聖復活の印を七回連続]

★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★♥☆☆★

以上